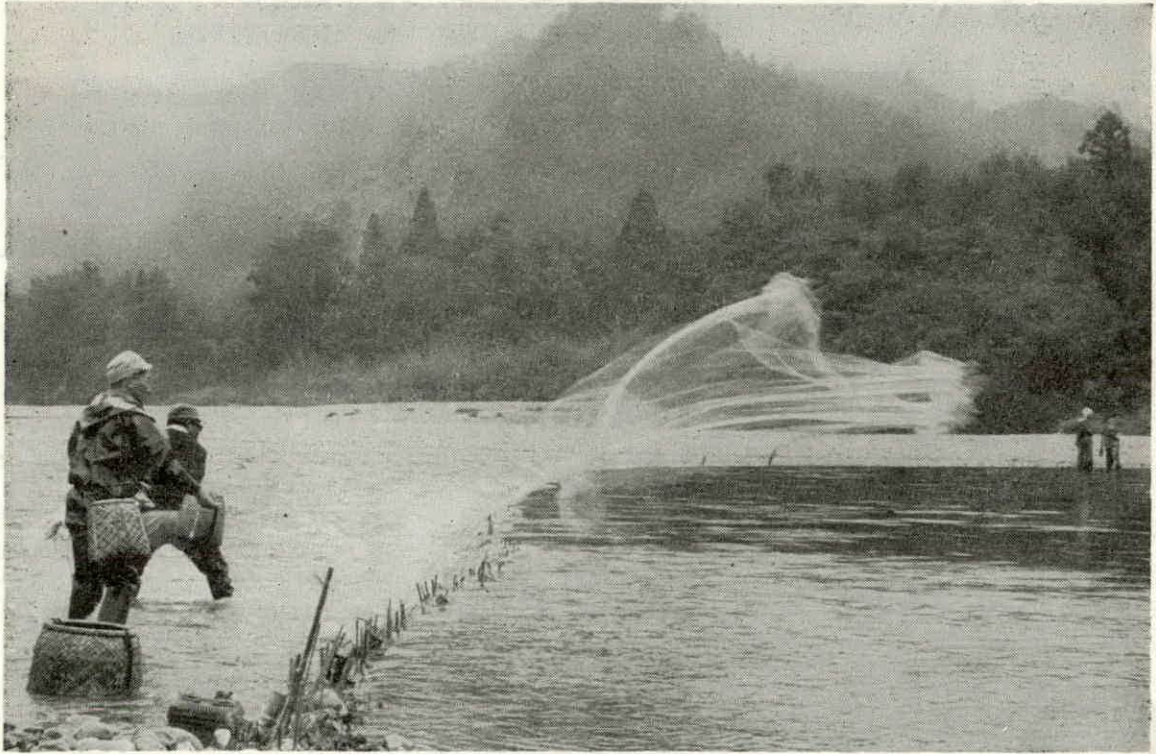


発行日 昭和45年10月20日  
発行 三重県度会町  
編集 総務課



(つづいておくと便利です)

## 秋深まる

\*\*\*\*\*

宮川の清流を鮎が下る季節です。

今年の鮎は育ちがよく、このところ大水も出ないので漁獲は上々。

川幅いっぱいに浅瀬に打ちこまれたよりでは、夜の明けるころになると落鮎を追う人々でにぎあう。

落鮎の群れが近づくと、待ってましたとばかりに投網が打たれる。

ザッという水面を切る音とともに銀りんがひらめく。

早朝の宮川の水は冷たく、秋はいよいよ深まってゆく。

写真は、落鮎めがけて投網が打たれる(長原で)

### 10月の納税

町県民税(第二期分)

国保税(第三期分)

10月31日までに必ず納めましよう。

# 一般会計など補正予算を可決

## 分校体育館、林道日部線工事契約も同意

第3回定例町議会が9月30日開かれました。

提出議案は、町長提案の補正予算案（一般会計、国保特別会計、農業共済会計）それに懸案の明野高校度会分校体育館新築工事および林道日部線開設工事の契約締結議決など9件と、議員提出の医療保険制度の改革に関する決議案で、慎重審議の結果、全議案を原案どおり可決しました。

議案審議に続いて、南出、西井、西村、中井、徳力の各議員から一般行政質問が行なわれ、町長らから答弁があり、会期1日で、閉会しました。

九月定例議会

### 一般会計 補正予算のあらまし

〔歳入〕 ◇町税2,590千円 ◇分担金及び負担金288千円 ◇県支出金786千円 ◇繰越金2,390千円。

〔歳出〕 ◇議会費80千円 ◇総務費339千円（ボタン式電話架設工事556千円追加、備品購入費375千円減額など） ◇衛生費348千円 ◇農林水産業費1,841千円（林道開設工事桑谷線340千円、勝手広線1,100千円など） ◇土木費81千円 ◇消防費100千円 ◇教育費3,265千円（度会分校体育館新築工事費追加2,300千円など）

補正総額6,054千円で289,609千円となる。

### 県道通行止のお知らせ

中之郷五ヶ町間で、県道改良工事に伴う電話ケーブル線埋設工事のため、緊急自動車以外の諸車が、夜間、通行止めになります。

◆ところ 県道伊勢・南島線（中之郷五ヶ町間）

◆とき 10月17日～11月30日まで（毎日午後10時から午前5時まで）

- 二万一千円の追加で、総額九百十六万九千円となる。
- ▼町火災予防条例の一部を改正する条例案
- 消防法の改正に伴う字句の改正
- ▼三重県町村職員退職手当組合格約の一部改正
- 町村の退職手当支給事務を共同処理するため昭和三十七年十一月設置された一部事務組合の規約中、加入町村の名称変更などの改正を行なうもの。
- ▼工事請負契約の締結について
- 県立明野高校度会分校体育館新築工事請負契約に伴う議会の議決。
- （鉄筋コンクリート一部二階建て 建坪七三六・四平方メートル）
- (1)契約金額 二千六百四十万円
- (2)相手方 伊勢市吹上町株式会社堀崎組、取締役社長堀崎秋生。
- ▼工事請負契約の締結について
- 民有林道日部線開設工事請負契約に伴う議会の議決。
- （南中村の県道分岐点から日部地内を経る林道開設工事 幅員三・六メートル 延長五〇〇メートル）

### 新教育委員に

## 長谷川悌三氏

九月三十日任期満了となった亀田常一教育委員の後任に長谷川悌三氏（市場）が任命されました。

### 略歴

日本海員養成所卒業 三重県立一之瀬診療所に十三年間勤務し、そのあとずっと農業に従事。この間、本町固定資産評価審査委員、町社会教育委員、市場区長、一之瀬小学校PTA会長などを歴任、現在、町国保運営審議会委員一之瀬農協理事、度会郡身体障害者相談員、59歳 市場

### 11月の商工相談所

11月4日午後1時から町役場で、伊勢商工会議所、伊勢税務署係官が、税を中心とした相談に応じます。税以外のことでもけっこうです。（毎月第一火曜日）

### 10月のよみ

- 20日 行政相談（役場）
- 21日 妊産婦検診（母子センター）
- 22日 乳幼児検診（中之郷保育所）酒類密造防止宣伝週間（31日まで）
- 26日 老人健康相談（火打石）
- 27日 同（柳）
- 28日 同（市場）妊産婦検診（母子センター）
- 29日 同（大久保）
- 30日 同（栗原）
- 1日 狩猟解禁、国民年金推進月間、納税者の声を聞く旬間（10日）
- 3日 文化の日
- 4日 妊産婦検診（母子センター）
- 5日 乳幼児検診（中川小）
- 11日 妊産婦検診（母子センター）
- 12日 乳幼児検診（母子センター）
- 18日 妊産婦検診（母子センター）
- 19日 乳幼児検診（一之瀬中）

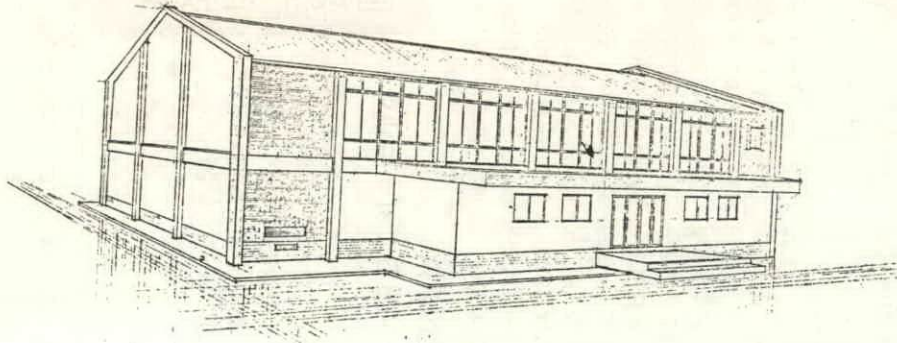
自衛官募集…受付毎日 ●お問合せは町総務課へ



長谷川悌三氏 略歴

【完成予想図】

明高度会分校



念願の体育館着工へ

明春三月には完成

町内唯一の高校「県立明野高等学校度会分校」に、念願の体育館建設が決まり、去る10日同校裏の建設予定地で、福井県伊勢地方連絡室長代理をはじめ長岡、藤田県議、西田校長ら来賓と浜岡町長、北村議長以下町議会議員ら地元関係者、それに施工者の堀崎組堀崎社長（伊勢市）ら20名が参列して起工式が行なわれました。

事業の概要

建築面積 736.4㎡
1階 703.0㎡ (競技場、ステージ、控室2、便所、用具置場)
2階 33.4㎡ (物置、ギャラリー)
屋根...大波石綿スレート葺き 床...ナラフローリング笠倉式張り
工費...2,729万円 完成 昭和46年3月20日
施工者...堀崎組 設計 藤川建築事務所



鎌入れをする浜岡町長

体育館は鉄骨コンクリートで一部二階建て、七三六・四平方メートル、バスケット、バレーの設備のほかステージ、放送施設、防火装置が完備し工費二千七百二十九万円で来年三月二十日完成の予定です。同分校は、昭和二十三年七月、内城田小学校校舎を間借りして定時制(農業科、家庭科)として発足、三十四年三月に現在の大野木地内に全額町費で鉄骨コンクリート建ての新校舎が完成、三十五年にはこれらの施設を県に移管しました。その後、全日制への昇格を望む声が強くなり、県当局へ要望が続けられた結果、昭和三十九年四月待望の全日制切り替えが実現、農業科、家庭科を廃止して新しく普通科として

てスタートしたわけですが。しかし、全日制高校に昇格する場合、施設が県の基準を満たしていることが条件であるため、このとき不足している施設(校地の拡張、排水施設の完備、体育館の建設など)を町が整備して県へ移管するという覚書が県との間にとりかわされました。今回建設される体育館は、このときの覚書に基づくもので、工費二千七百二十九万円は、全額町費負担(このうち一部は同校PTAからの寄付金)で、これは町年間予算の割に相当する金額ですが、町内唯一の高校であることや生徒の大半が町内の子弟であることなど同校の存在は大きいといえましょう。

共同募金にご協力を



赤い羽根の国民たすけあい共同募金運動が、今年も十月一日から全国一斉に行なわれています。この運動は、終戦直後、極度の荒廃にさらされた民間社会福祉事業を立ち直らせ発展させるために、昭和二十二年に発足した純粋の民間運動です。

今年で二十四回目になりますが、募金額は毎年全国で約三十億円にのぼり、それによって多くの社会福祉施設の整備や恵まれない人々に対する援護などを行なっています。なお、昨年県共同募金会から本町注連指の児童公園に遊具施設費十万円が贈ら

れています。

本町の募金目標額は十六万四千二百円で、一戸当たり約九十二円になります。すでに各地区の運動会場で街頭募金をお願いします

が、現在、各部落で、婦人会を通じて各戸に戸別募金をお願いにあがっていますので、その節はよろしくご協力のほどをお願いします。



### 始まった所得比例

十月から新しく定額保険料（一律四百五十円）のほかに所得比例保険料制度（三百五十円）がスタートしました。

その仕組みは

次のとおりです

◆加入できる人

国民年金に加入している人で

地方税法に定め

る所得がある人

（事業専従者も

含む。）

## 国民年金教室

### サラリーマンの奥さんなど

#### 任意加入に

ご承知のように国民年金制度は、国民一人一人が共同連

体によって老齢、廃疾または

死亡による国民生活の安定を

はかるもので、日本国内に住

所を有する二十歳以上六十歳

未満の日本国民であつて、厚

生年金や公務員共済制度など

で保障されない農林漁業者や

自営業者、またはその家族の

保障をはかるというもので

す。

しかし、会社や官庁など、

いわゆる勤め人の配偶者には

年金制度がなく、老後は夫の

年金に頼ることになります。

そこで国民年金制度では、

これらの人のために、希望に

よつて国民年金に加入してい

ただき、老後の保障をしよう

という任意加入制度がありま

す。

◆保険料 月三百五十円で、定額保険四百五十円にあわせて納める。

◆年金額 所得比例保険料納付月数に百八十円を乗じた額が年金額です。

（二十年掛金して月額三千六百円、二十五年掛金で月額四千五百円が、通常の老齢年金に上積みされます。）

◆申込み 十月一日から町住民課国民年金係で受付けていますから、所得比例保険料納

入できる人：次のいずれかに該当する人

〔若齢任意加入〕

(1)会社や官庁などに勤め、被用者年金制度に加入している人の配偶者

(2)恩給や年金など公的年金給付を受けている人とその配偶者

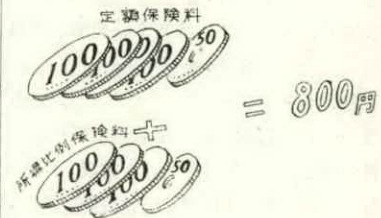
(3)県、市町村議会議員とその配偶者

(4)学生（夜間、定時制の学校に通っている学生は除く）

〔高齢任意加入〕

◆国民年金法施行当時五十歳以上五十五歳未満（明治三十九年四月一日～同四十四年四月一日）の人で、他の年金制度から年金「恩給」を受けることのできない人。昭和三十六年三月三十一日までに申出ることによって、十年年金に

付をご希望の方は印鑑をお持ちのうえお申込みください。



任意加入することが認められた。……町内の加入者一五五名

◆前記の人で、十年年金に加入もれとなった人には、昨年末の国民年金法改正により高

齢者に対する特例措置として

五年年金が設けられ、本年六

月三十日まで申し出れば加入

することができた（町内加入者一〇三名）

なお、現在は高齢者に対する

特例措置による加入は認め

られません。

加入手続

高齢任意への加入はできませんが、若齢任意の加入手続

きは、町役場に備えつけの国民年金被保険者任意加入申請

書を町長を経由して県知事に

提出します。（被保険者期間は

町長が受付けた月から六十

歳）

保険料

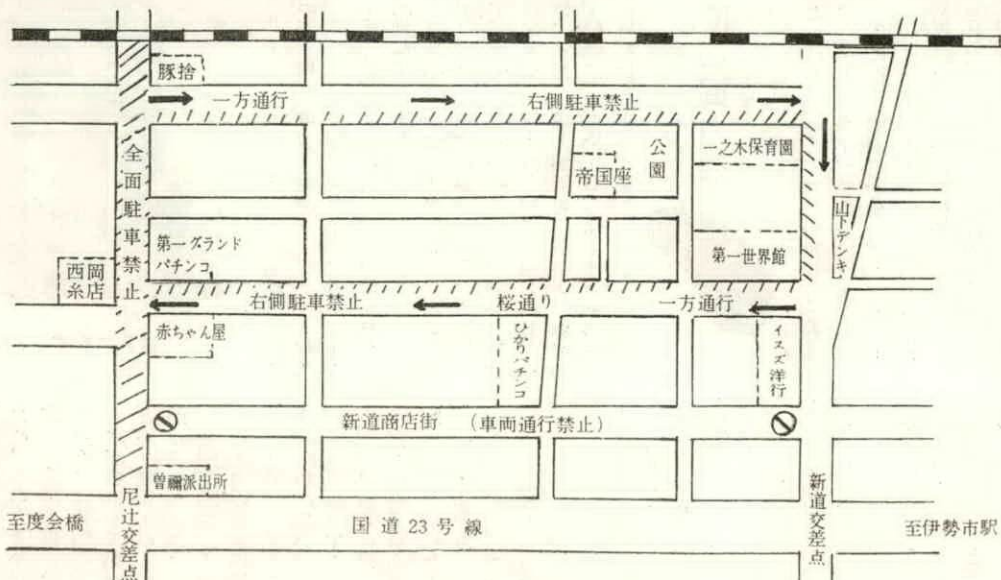
強制加入の被保険者と

同

## 伊勢市内のさくら通り周辺

### 一方通行と駐車禁止区域に指定

8月1日から伊勢市内のさくら通り周辺の市道が、一方通行と駐車禁止区域に指定されました。



同額の一カ月四百五十円  
(四十七年七月より五百五十円)

年金額と受給要件

年金額の算定方式および受給要件とも強制加入の被保険者と同じです。(くわしくは七月一日発行の広報わたらい国民年金特集号をご参照ください。)

サラリーマンの奥さんで、国民年金に任意加入されると次のような利点があります。

……例えば夫が死亡した場合、後に残された遺族に対し



ペンリレー

六月も終りのころ婦人会の研修会を終えて伊勢市のバスセンターでバスを待っていると、かつての女学校時代の友達とばったり出合った。

二十年前ぶりの再会とあってジョッピングの食堂で夏の神路山を眺めながら話に花が咲いた。

彼女は四十を過ぎたとは思えぬほど若々しく装って、生来の美しさをより以上に生かして、見るからに貫録十分。それに比べて私は、少々の身づくろいも不似合で平素の素朴さが露骨に現われて色は黒く、顔のしわも目立っている。かにも対象的な二人である。

夫が生存中か加入していた年金制度から遺族年金が支給されることも、十八歳未満の子どもがある場合、奥さんが加入している国民年金からも母子年金が支給されることになり、二つの年金が受給できま

す。……老後においても、年金(恩給)を受けている夫が死亡した場合にも、夫が受けていた年金の半額と、奥さんの加入している国民年金から老齢年金が支給されます。

……町内の国民年金加入者は、コーヒを飲みながら二人は、この二十年間のお互いの歩んで来た道がかかるがわる語りはじめた。

農家に嫁いだ私は、馴れない野良仕事を教わりながら、三人の子供を育て、なにを考えるでもなく、毎日がただ忙しさに追われる生活で、やっと気のついたころには、子供



は二、四九九名で、このうち任意加入者は九五八名にもなっています。

まだ加入していない方は、ますます加入し、老後に備えましょう。

手は節くれ立っている。なんのとりのえもない自分の半生に半分は満足し、半分は反省しながら苦笑した。

神戸の英語教師のもとに嫁いだという彼女からは、きつとすばらしい話しが飛び出すことと期待していた。

しかし人間にはそれ相応の苦勞があるもので、夫と女の

旧友と語る

中之郷 中西幸子

が成人式を迎えるまでに成長し、自分はいもう白髪がまじり

子供一人、それにクリスチャンのお母さんという恵まれた家庭で、なに不自由なく暮らして来たのが、最近になって七十を越したお母さんが別に職を求められ別居中で、自分もいたたまれず化粧品品のセールスを始めたという。



そのとき私は、女学校時代

小林親君(川口)

秋季国体で活躍

十一日から岩手県で開催された秋季国体で、三重県勢は天皇杯四十位、皇后杯三十五位に終わりましたが、県選手団



二百七十五人のなかで本町川口的小林親君(伊勢工高三年)がバトミントン高校男子代表(本県三名)として出場大いに活躍しました。

本町から国体出場選手が出たのは初めてのこと、町では出発前に松田助役らが激励にかけつけたり、試合が行なわれた日などは結果を亲身体協

本部に問合せるなど遠く度会

の地から声援しました。

三重県は第一回戦、埼玉県を破り、準決勝に進出しましたが奈良県に破れ、結局第四位となりました。

同君は現在伊勢工業高校のバトミントン部主将で、さきに行なわれた三重県大会で優勝、インターハイでは第三位という輝かしい成績をおさめています。

恩給担保の貸付け

最高30万円・返済は3年

国民金融公庫では、恩給、扶助料、年金を担保とする「恩給担保貸付」を行なっています。手続きは簡単で、しかも低利で迅速にご利用いたします。ぜひご利用ください。

○貸付限度 恩給、扶助料年金の三分以内で最高三十万円 ○資金使途 事業資金のほか住宅改修費、教育費、借金返済などの消費資金 ○利息 年6パーセント ○連帯保証人 一名以上 ○返済方法 担保にお預りする恩給、扶助料年金の給与金を元利金に充当 ○申込み 松阪伊勢信用金庫、第三相互銀行伊勢支店など。

次回は、中西さんのご指名により落合卯助さん(一之瀬中学校長)にお願いします。予定です。

中学校陸上競技

県大会で3人入賞

三重県中学校陸上競技大会が去る十八日伊勢市宇治の三重県営競技場で行なわれ、本町から四人が出場。男子二千メートル女子砲丸投げに三人が入賞しました。

▼男子二千メートル ④中山昇(中川中) 6分18秒2 ▼女子砲丸投 ③浦田和美(内城田中) 111.74 ④中村隆子(同) 101.77 二百メートル 中森薫(内城田中)

〔郡大会結果〕  
▼男子二千メートル ①中山昇(中川中) 6分22秒2 ▼女子二千メートル ②中森薫(内城田中) 28秒7 砲丸投 ③浦田和美(内城田中) 111.74 ④中村隆子(同) 101.77



女子200メートル、ゴール前の接戦(町大会から)

〔総合得点〕  
①中川中44・5点 ②内城田中43・5点 ③一之瀬中34点 ④小川郷中24点

〔男子の部〕  
▼百メートル ①大西恒巳(中) 13秒1 ②田畑美明(内) ③亀田正登(中)  
▼二百メートル ①田畑美明(内) 28秒7 ②大西三善(同) ③八百三十九(中) ④松田 悟(内) ⑤門野隆一  
▼二千メートル ①中山昇(中) 6分36秒5 大会新 ②大久保雅弘(小) ③林弘和(中) ④八百三十九(中) ①中川中1分51秒4 ②一之瀬中 ③内

〔女子の部〕  
▼百メートル 中森薫(内) 14秒8 ②中村たみ子(中) ③橋本節美(小)

〔町大会の結果〕

城田中

▼走高跳 ①橋本清美(小) 1.45 ②山下和行(一)

③清水朋之(内)

▼走巾跳 ①山下和行(一) 4.49 ②門野隆一(一)

③奥野吉仁(小)

▼三段跳 ①奥野吉仁(小) 11.49 ②亀田正登(中)

③山本正治(内)

▼砲丸投 ①黒井信之(中) 11.49 ②山中正(同) ③中西亘(小)

男子得点 ①中川中31点 ②内城田中22点 ③小川郷中22点 ④一之瀬中22点

〔女子の部〕

▼百メートル 中森薫(内) 14秒8 ②中村たみ子(中) ③

橋本節美(小)

女子得点 ①内城田中21・5点 ②一之瀬中17点 ③中川中13・5点 ④小川郷中7点

広報板

地方選挙アピールの標語募集

- ◆趣旨 明春4月に統一地方選挙が予定されていますが、地方自治、地方行政のない手となる人を選ぶ地方選挙の重要性を一般有権者にアピールするもの。
- ◆応募方法 自作、未発表のもので、官製はがき1枚に1句を記入、住所、氏名、年齢、職業も忘れずに(1人2枚まで)
- ◆締切 昭和45年10月31日(当日消印有効)
- ◆賞金 1等1人3万円 2等3人各1万円 3等10人各3千円 佳作若干人記念品
- ◆発表 12月中旬に新聞、放送を通じて発表。
- ◆あて先 東京都千代田区平河町2の6麹町会館内 財団法人 明るく正しい選挙推進全国協議会(〒102)

有放文、時事川柳も募集

- ◆趣旨 標語募集と同じ。
- ◆応募方法 有線放送文は、コント形式、随想文形式などできるだけ平易なもので、4百字詰原稿用紙1枚以内。時事川柳は、官製はがき1枚に1句、住所、氏名、年齢、職業をお忘れなく、有放文、時事川柳とも1人3点まで。
- ◆締切 昭和45年12月25日。
- ◆賞金 5点程度の入選作品を選び、賞品または賞金を贈る。
- ◆あて先 度会町選挙管理委員会または三重県町村選挙管理委員会連合会伊勢支部)伊勢市勢田町622、三重県選挙管理委員会伊勢地方書記室内)

防災作文募集

作文課題 「火災予防」

作文の内容 児童が日頃学校や家庭において火災予防についてどのようなことを実行しているかについて書いてください。

応募方法 4百字詰原稿用紙5枚以内にまとめ、住所、氏名、学校名、学年を明記。

応募資格 小学校5年と6年の児童。

締切り 11月5日。

あて先 津市広明町13番地、三重県総務部消防防災課(〒514)

賞 1等1点 2等2点 3等3点 佳作10点 それぞれ賞状、賞品。

発表 11月26日ごろ新聞発表のほか入賞者の学校へ通知します。

大北きよかさん

拾得金を共募へ

大北きよかさん(内城田中二年)は、このほど町住民課へ共同募金の一部にしてくださいと三百五十五円を寄託しました。

これは、去る一月、大北さんが棚橋地内の県道で拾ったもので、棚橋駐在所を通じて伊勢警察署に届けたのが遺失物法で大北さんのものとなりました。